

金曜日の会 報告

- 1 期 日 10月30日 19:00~21:00
- 2 場 所 倉敷労働会館
- 3 参加者 O、CH、AR、AK、AS、TA、YO
- 4 内 容

『側転』映像 AR

『ごんぎつね』映像 TA中

『海の命』記録 YO

『大造じいさんとガン』解釈 AK

○側転の映像からは、子どもたちが吸い上げを意識している様子がよく分かりました。また、体のかたさをほぐす取り組みが、膝などの柔らかさにつながっていました。難しい子どもに対しては、個に合った助言が必要です。『手→手→足→足』を意識した川渡りをしたり、壁倒立で逆さ感覚や開脚をつかませたりすることが有効だと思います。上手な子を先生役にしたり、グループで見合ったりすることも大切です。友達の力は、大きいです。

○ごんぎつねの授業映像では、教師のはつらつとした話し方がとても良かったです。今後は、どの言葉を扱えばよいか(例えば、次につながっていくか?)を考えて読むことが大切です。また、みんなを巻き込む意識と広い視野を持って子どもたちを見ることは、私たちみんなの課題だと思います。

○海の命の記録からは、教師が何をやりたいのかが分かりませんでした。この海は、父の海だけを指すのか、海全体を指すのかという問題が子どもから出てきたのに、支持確認もせずに対立問題にしないところに、授業者の対立に対する意識の低さが出ていました。瀬の主への殺意はいつなくなったのか、予想外の視点でした。

○大造じいさんとガンでは、何に対して思わず感嘆の声をもらしたのかということを考えました。残雪なのか、仲間たち(ガンとかカモとかいう鳥)なのか、大きな問題です。文責Y

O